

事業番号	10 04 03	事業改善シート（令和6年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	森林病害虫防除事業			部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
				実施期間	S56 ～	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・松くい虫については、被害量は減少傾向にあるものの鎮静には至っていないことから、守るべき松林と周辺松林で集中的に対策を行い、被害の拡大を防止する必要がある。

・予防対策として空中散布等による松くい虫対策を実施するためには、地域住民との丁寧な合意形成の必要がある。

・カシノナガキクイムシについては、被害量が2,000本程度で推移しているが、早期発見による駆除とライフライン等への倒木防止の必要がある。

2 事業目的

急峻で脆弱な県土の防災や、信州の原風景の保全上重要な役割を果たしているアカマツ林等を保全するとともに、木材やマツタケ等の林産物の生産を確保するため、松くい虫等被害区域の拡大防止を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 予防事業（薬剤散布等）**
 守るべき重要な松林への松くい虫被害を予防するために広範囲で行う空中散布を実施
 天然記念物や史跡名勝、文化財等に指定されている貴重な松林への松くい虫被害を予防するために単木的に行う薬剤の樹幹注入の実施
- ② 駆除事業（被害木の伐倒駆除）**
 守るべき松林や周辺松林で発生した松くい虫被害木の伐倒駆除を適期に重点的に実施し、被害拡大の防止を図る。
- ③ カシノナガキクイムシによる広葉樹被害の予防及び駆除**
 カシノナガキクイムシによる広葉樹被害（ナラ枯れ）の予防及び駆除を実施し被害の拡大の防止を図る。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①②	松くい虫被害量	m	53,949	55,280	↘	60,015	↘	53,949	未達成	松くい虫被害量を前年度以下に抑制することを目標とする。	
③	カシノナガキクイムシ被害量	m	2,049	3,413	↘	8,506	↘	2,049	未達成	カシノナガキクイムシ被害量を前年度以下に抑制することを目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	0	161,812	52,130	213,942	89,711	113,216	12.0
R5年度	0	171,269	14,543	185,812	57,312	183,558	12.0
R4年度	0	188,140	△ 40,419	147,721	58,633	134,195	12.0

事業番号	10 04 03	事業改善シート（令和6年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	森林病虫害防除事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課

7 主な取組実績と成果

① 予防事業（薬剤散布等）

- ・守るべき重要な松林への松くい虫被害を予防するためにマツノマダラカミキリが羽化する6月の適期にヘリコプターや人力による薬剤散布を行い（空中散布211ha、地上散布29ha）、被害発生を抑制した。
- ・天然記念物や史跡名勝、文化財等に指定されている貴重な松林への松くい虫被害を予防するために単木的に行う薬剤の樹幹注入について2地区115本の松で実施し、被害発生を抑制した。

② 駆除事業（被害木の伐倒駆除）

- ・守るべき松林や周辺松林で発生した松くい虫被害木について、国庫や県単予算による伐倒駆除（4,120m³）を実施した結果、昨年度の被害発生面積率29%から22%に減少し、被害対策対象松林における拡大を最小限に抑えることができた。

③ カシノナガキクイムシによる広葉樹被害の予防及び駆除

- ・ナラ枯れをもたらすカシノナガキクイムシは、初夏に被害木から脱出し、健全な広葉樹（ナラ類）に新たに飛来するため、被害木の早期発見、早期対策（被害木伐倒駆除205m³、立木くん蒸120本）を実施し被害の拡大を最小限に抑えることができた。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①②	松くい虫被害量	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
松くい虫防除対策として予防事業と駆除事業の促進を図り被害が減少・抑制された地域もあるが、局所的に増加した地域があり、県全体としては目標は未達成となった。							
指標③	カシノナガキクイムシ被害量	R5年度推移	↘	R6年度推移	↘	達成状況	未達成
カシノナガキクイムシ枯損木の早期発見、伐倒駆除対策により令和4年度まで減少していたが、令和6年度は、夏季の高温と降水量が少なかったこと及びカシノナガキクイムシの活動が活発になったことにより枯損木が増加したことが推測され、目標は未達成となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・松くい虫被害量については平成25年度をピークに減少傾向であり、駆除対策による一定の効果は見られるが、令和6年度は前年度被害量より増加しており、高止まりの状況である。予算、労務等の制約から駆除対策に限界があることから、守るべき松林とその周辺に特化した対策が必要。
- ・予防対策として、空中散布等による松くい虫対策を集中して実施するためには、地域住民との丁寧な合意形成が必要。
- ・カシノナガキクイムシによる広葉樹の枯損被害については、枯損木が増加したことにより令和6年度は前年度被害量より増加しているため、早期発見と駆除を行っていくことが必要。

(2) 事業改善の方策

- ・松くい虫被害量を減少させるため、守るべき松林を一層絞り込み、選択と集中により対策を実施
- ・事業実施のための予算確保と、地域住民との合意形成が引き続き得られるよう、森林保護専門員による技術支援を継続
- ・カシノナガキクイムシ被害の対策として、ライフライン等に近接した被害木の早期発見と適期の駆除を実施

事業名	森林病虫害防除事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課
-----	-----------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	松林健全化推進事業		125,338 千円	174,907 千円	104,825 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	被害木調査及び駆除指導	直接	被害の早期発見と診断を実施し、感染が確認された場合は駆除等の技術指導を実施 早期診断件数129件、金額 319千円		
2	被害木の駆除事業	補助金	松くい虫被害木の伐倒駆除 駆除量（国庫2,137㎡ 県単1,987㎡）、補助総額 76,951千円		
3	樹幹注入剤利用松林保全対策事業	補助金	特に重要な松林における薬剤樹幹注入による被害予防 薬剤樹幹注入件数115本、補助総額 2,010千円		
4	薬剤散布事業	補助金	守るべき重要な松林において行う薬剤の散布及び市町村が行う環境影響調査 大気・水質調査8市町村 198検体、無人ヘリコプター散布2市町 21.0ha、空中薬剤散布8市町村 190ha 他、補助総額 17,565千円		
5	環境影響調査委託費	直接	空中薬剤散布（特別防除）の昆虫類、大気・土壌への影響調査（国との契約による県の調査） 昆虫類調査1地区3回、大気24検体・土壌調査3検体、金額 5,338千円		
6	松くい虫対策見える化・管理事業	直接	被害先端地域や高標高地における松くい虫被害木の単木発生位置情報の見える化 地域区分図の更新1回、被害レベルマップの更新1回、金額 2,642千円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	広葉樹等枯損対策事業		8,857 千円	8,651 千円	8,391 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	被害木の駆除事業 等	補助金	カシノナガキクイムシによる広葉樹の被害木の伐倒駆除及び立木くん蒸 被害木伐倒駆除 205㎡、立木くん蒸 120本、補助総額 8,391千円		